

6年ぶり16回目のシード権を獲得

全日本大学女子駅伝



**アンカー三ツ木が
3人抜きの快走**

福居・上田のダブルエースも力走

第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会(社)の都駅伝は10月29日、宮城県仙台市で行われた。当日台風の影響で気温は度の寒さ天雨という悪コンディションだったが、アンカー三ツ木桃香(現代政策)と写真の3人抜きは快走もあって時間8分46秒で8位入賞して、6年ぶり16回目のシード権を獲得した。

1区はキャプテンの福居紗希(現代政策)が先頭から13秒差のトップを走り、2区の上田未奈(総務)が区間4位まで快走でチームをキープした。3区は小笠原晴季(経営)が区間3位のペースで走り、4区から6区までは2年のオスター・小笠原は順位を7位まで落すも、続く4区の前光菜(女子医療栄養)がシード権内の7位をキープした。また5区の前光(現代政策)もこの順位をキープした。

5区でいったんシード圏外の11位まで落したが、最終6区の三ツ木が、区間3位の走りでシード権内の8位でゴールに飛び込んだ。

1区のキャプテンの福居紗希(現代政策)が先頭から13秒差のペースで走り、2区の上田未奈(総務)が区間4位まで快走でチームをキープした。3区は小笠原晴季(経営)が区間3位のペースで走り、4区から6区までは2年のオスター・小笠原は順位を7位まで落すも、続く4区の前光菜(女子医療栄養)がシード権内の7位をキープした。また5区の前光(現代政策)もこの順位をキープした。



▲レース後に笑顔を見せる女子駅伝部の選手たち

渡部 400mで2位表彰台

10月6日(日)日本、愛知県松山市の愛媛県総合運動公園陸競技場で行われた第72回国民体育大会(愛媛国体)の陸上競技で、渡部佳明(経営)が成年男子400mで2位の表彰台に上がった。専門種目の400mハードルでは準優勝したが、専門外の400mで、リオ五輪代表のウルシュー・ジュリアン(東洋大学)に次いで、46秒55で2位となった。渡部は今期、1600mリレーの走りとしたびに快走。走りが上がっていることをかかわっていたが、今回の競走得を証明する形になった。

記録は月に1行われた箱根選手権で記録した46秒5に次ぐセカンドベスト。専門の400mハードルでは、9月の日本インカレで優勝、10月は特種目の600mハードルで世界4記録、日本最高記録を樹立し、さらには、ハードルを走る記録更新が期待される。渡部は「国体のタイムは今後の自信にもつながるもの。来年は本職である400mハードルで、ハードル技術などを磨き、しっかりと結果を残せようという目標を掲げたい」と話している。



**シード権獲得ならず(13位)も
4区・菅が区間賞**

第49回全日本大学駅伝対校選手権大会は10月5日、名古屋市瑞穂区神宮寺(三重・伊勢伊勢神宮)までの8区間(06・8区)で行われた。3年ぶり6度目の出場となった男子駅伝は5時間57分3秒で13位となり、6位までのシード権の獲得はならなかった。4区の菅真大(経営)と写真の区間賞の走りもあって、再び10位まで順位を上げた。

1区(14・6区)は箱根予選会でトップだった金五五五(経営)。先頭集団に近づいていたが、途中で遅れられたスタートとなった。2区(西尾陣陣)で菅が区間賞を握り、3区(中島分平)でも菅が区間賞を握り、なかなか順位を上げられない。しかし、4区(14・6区)の菅が最上級生の意地を見せた。40分9秒は区間歴代6位、日本歴代3位の好記録だった。5区(山本道也)が区間7位、6区・大石巧(経営)が区間9位と粘りを見せた。7区の中継では10位をキープしたが、順位を守れなかった。

菅は「間区間が流れに乗っていない中で、橋本監督から流れを要を命じられて、最初から積極的に前向き走り、最終区間賞は箱根伝に向けての自信になった」と語った。

上級生の意地を見せた。40分9秒は区間歴代6位、日本歴代3位の好記録だった。5区(山本道也)が区間7位、6区・大石巧(経営)が区間9位と粘りを見せた。7区の中継では10位をキープしたが、順位を守れなかった。

菅は「間区間が流れに乗っていない中で、橋本監督から流れを要を命じられて、最初から積極的に前向き走り、最終区間賞は箱根伝に向けての自信になった」と語った。

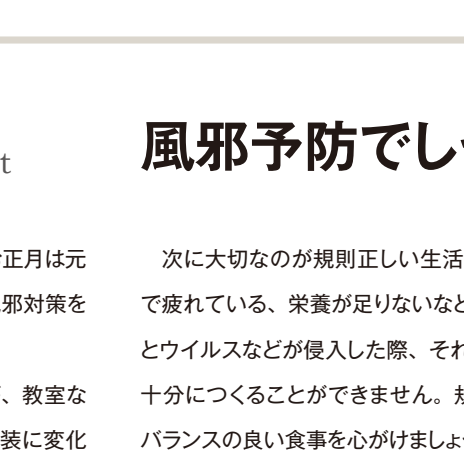


写真提供:高桑 霞美

**「夢をかたちに
2020年の
主役たち」**

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで活躍を期待している、水田美術師チャリイ2で10月9日、5輪展「夢をかたちに、2020年の主役たち」が開催された。この2020年の主役たちが開催されている。毎日新聞社の協力で貴重な写真資料の協力に感謝している。菅の歴史、1964年の前回大会で活躍した内外の選手が期待される日本の若きアスリートたちを紹介。付属の城西高専を卒業して米フロリダ大に留学した短距離のサニタリオンハキム選手や体操の白井三選手、水泳の池江璃花子選手らが活躍している。

また、「本期待の選手」として卒業した上級生と、村山麻太郎選手(旭化成)と、(平通)と堀井浩志選手(住友電機)に加え、同400mハードルの観望(経営)と渡部佳明(経営)の現役選手合わせて5人に対する城西大学スポーツ新聞の学生記者によるインタビューもハナレしている。



写真提供:高桑 霞美

記者の目 寂寥感と達成感と

さまざまな立場で陸上競技にかかわった大学4年間だった。入学当初に思い描いていた未来ではなかったけれど、この4年間に悔いはない。「城西大学スポーツ」(JSポ)に入ったことで、深くかかわることができたのも多かった。いっしょにJSポの活動が自分のやりがい、生き甲斐、そして誇りになった。偉大な先輩たちのような記者ではなかったかもしれない。それでも写真や原稿に込めた想いは人一倍強かったと思う。頑張っている人がいることを多くの人に伝えたい、知ってほしい……。そう思いながら駆け抜けた日々だった。

ひとむきに競技に取り組む選手やそれをサポートするマネージャーの姿。それを伝えられるのは私しかないと思った。だから頑張った。一人では絶対に途中で捨てて

いたと思う。たくさんの人に支えられてきたから、ここまで来ることができた。平凡な大学生生活に色を添えてくれた大きなものが終わる。心にぽっかりと穴が空いたようなそんな気持ちや、抱えている。それと同時になんとも言えないこの達成感。私はきっとやりきったのだと思う。

JSポの未来を担う後輩たちに伝えたいのは「全力で向き合ってほしい」ということ。誰もが経験できることではないこの貴重な日々を思いっきり楽しんでほしい。そしてつないでいてほしい。

多くの皆様、マネージャーさん、選手のみならず、そして千葉佳裕先生、本日にありがとうございました。春からはまた新たな舞台で私らしく頑張っていこうと思う。きょうこの経験がどこかで必ず活きて信じて。 【高桑霞美】

Pharmacy×Sport 風邪予防でしっかり応援

箱根駅伝出場おめでとうございます。お正月は元気に応援したいですね。今からしっかり風邪対策を行って、万全体調で応援しましょう。

冬の風邪予防といえば寒さ対策ですが、数少ない冬の室内での生活も重要です。屋内外で服装に変化がないと、再び外出したときに必要以上に寒く感じます。また、水分補給も重要です。夏と違い冬は意識的に水分を摂るよう心がけてください。

水分は体を冷やそうとする機能です。暖房のない部屋でコートを着ていると、少量でも汗をかいて体が冷えてしまいます。これらを防ぐために、屋内だけでなく屋内での服装にも気をつけましょう。

次大切なのが規則正しい生活です。睡眠不足で疲れている、栄養が足りないなどが弱っている状態でウイルスなどが侵入した際、それらを倒す抗体を十分につくることができません。規則正しい生活、バランスの良い食事を心がけましょう。

また、水分補給も重要です。夏と違い冬は意識的に水分を摂るよう心がけてください。暖房のない部屋でコートを着ていると、少量でも汗をかいて体が冷えてしまいます。これらを防ぐために、屋内だけでなく屋内での服装にも気をつけましょう。

ます。すると血液はドロドロになり細胞へ酸素を供給できず、新陳代謝が悪くなってしまいます。せっかく食べた栄養もうまく消化吸収できず、体は弱り風邪をひきやすくなってしまいます。他にも代謝が悪くなることで肌や髪など美容にも悪影響が起きます。そうならないよう冬でもきちんと水分を摂りましょう。

風邪をひいてしまう様々な要因に対して、当たり前なことでも意識して対策をとらないのでは、全然違います。ちょっとしたことでも実行して元気に応援しましょう。 【本多里菜】

城西大学 Sports

箱根駅伝特集号

2017年12月vol.31

城西大学の題字は創立者・水田三喜男先生
発行所：〒530-0295 埼玉県板戸市けやき台1-11 城西大学

第94回箱根駅伝

**箱根駅伝出場
おめでとうございます**

白幡 晶 学長

男子駅伝部の皆さん。箱根駅伝出場おめでとうございます。

混沌とした世の中であるからこそ、常に自らの殻を破る挑戦は大きな意味を持ちます。部員全員が挑戦を続ける努力がなければ、チームとしての成果は現れなかったのではないかと思います。

みなさん選手の1年間にわたる努力の結果としての2年ぶりの箱根駅伝出場に、卒業生、在校生、教職員一同、大きく勇気付けられていることをおぼろげに感じます。そして、挑戦しつづける人だけが味わえる充実感を、学生時代に存分に味わえる選手の皆さんは、箱根駅伝の走りを通して、仲間と共に挑戦の意味を示してください。

地域の皆さんとともに、みなさんを応援したいと思います。

頑張ってください。

歴代成績

第80回 総合19位 11時間42分15秒
第81回 総合15位 11時間22分49秒
第82回 総合11位 11時間16分10秒
第83回 総合11位 11時間20分50秒
第84回 総合11位 11時間20分19秒
第85回 途中棄権
第86回 総合6位 11時間17分53秒
第87回 総合11位 11時間13分26秒
第88回 総合6位 11時間10分17秒
第89回 途中棄権
第90回 総合19位 11時間25分42秒
第91回 総合7位 11時間8分15秒
第92回 総合12位 11時間20分6秒

予選突破が決まり歓喜に沸く選手たち

主将に聞く 中倉 優也主将

皆さんを驚かす走りを全員で！

主将の中倉優也(経営4)にチームの近況や意気込みを聞いた。【聞き手・高桑霞美】

— チームの状態はどうか。 — 全日本大学駅伝(13位)で今のまだと戦えないというところがわかり、全員が危機感を持って練習に取り組んでいます。

— 意気込みを聞かせてください。 — 今年はいい流れできているので、全員に期待してほしいです。

— 注目選手はだれですか。 — 菅真大(経営4)。全日本大学駅伝での走りをもう一度みたい。

— 最後にメッセージをお願いします。 — 応援してくれている皆さんを驚かす走りを全員でます！

シード権&過去最高位を目指し2年ぶりの箱根路

今年度は絶対的エースのいない中で全日本大学駅伝予選会、箱根駅伝の予選会を勝ち抜いてきた。力のある選手が故障や調子が上がらずにメンバーに入らなくとも、予選会を突破したの大きな自信と、これまでにない。しかし、全日本大学駅伝では菅真大(経営4)の日本人歴代3位のペースで区間賞を獲得したものの、全体では13位と振るわない結果となった。

箱根駅伝は全日本大学駅伝に比べて距離が伸び、区間も増える。チームで箱根駅伝経験者は4年生の菅の4人、3年生の金子元気の3人、2年生の菅の1人、残り3年生以下のメンバーがどなたも本戦で自分の走りを見せたいと、この予選会を突破したの大きな自信と、これまでにない。しかし、全日本大学駅伝では菅真大(経営4)の日本人歴代3位のペースで区間賞を獲得したものの、全体では13位と振るわない結果となった。

箱根駅伝は全日本大学駅伝に比べて距離が伸び、区間も増える。チームで箱根駅伝経験者は4年生の菅の4人、3年生の金子元気の3人、2年生の菅の1人、残り3年生以下のメンバーがどなたも本戦で自分の走りを見せたいと、この予選会を突破したの大きな自信と、これまでにない。しかし、全日本大学駅伝では菅真大(経営4)の日本人歴代3位のペースで区間賞を獲得したものの、全体では13位と振るわない結果となった。

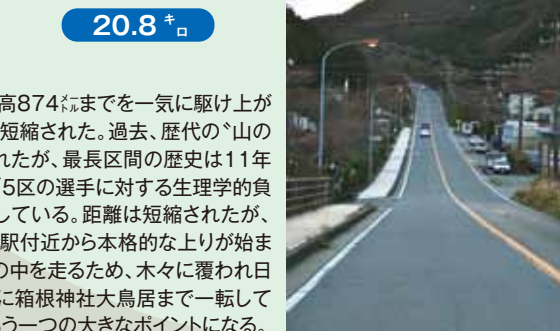
箱根駅伝は全日本大学駅伝に比べて距離が伸び、区間も増える。チームで箱根駅伝経験者は4年生の菅の4人、3年生の金子元気の3人、2年生の菅の1人、残り3年生以下のメンバーがどなたも本戦で自分の走りを見せたいと、この予選会を突破したの大きな自信と、これまでにない。しかし、全日本大学駅伝では菅真大(経営4)の日本人歴代3位のペースで区間賞を獲得したものの、全体では13位と振るわない結果となった。

2年ぶり14回目の箱根駅伝に臨む男子駅伝部

折り返し地点
箱根・芦ノ湖

天下の剣へ
急坂を13%駆け上り往路ゴールに向かう
天下の険とわかれた箱根の山。国道1号線の最高地点の標高874mにまでを一気に駆け上がる。2017年からそれまでの全区間最長の23.2%から2.4%短縮された。過去、歴史の11の神を生み、「5区を制するものは箱根を制する」とまで言われたが、最長区間の歴史は11年で終了した。その理由について、関東学生陸上競技連盟は、「5区の選手に対する生理学的負担が大きい。総合成績に対する貢献度も大きい」と説明している。距離は短縮されたが、それでも最大の難所であり、重要度は変わらない。箱根本駅付近から本格的な上りが始まり、ここから約13%の急坂を上る。この間、山の中を走るため、木々に覆われ日差しはあまりない。16.2%の最高地点を過ぎると19%過ぎに箱根神社大馬場まで一転して下りに入る。ここでの走り切り替えが往路のゴールに向けた一つ一つの大きなポイントになる。

第5区
小田原～箱根・芦ノ湖
20.8%



第4区
平塚～小田原
20.9%

海風とアップダウンが選手を苦しめる
往路終盤への重要区間
2006年から2016年までは18.5%で、最も短い区間だったが、2017年からは中継所が再び、鈴鹿前と海岸線に別れるを告げるが、それでも海からは近く風の影響を受けやすい。箱根アップダウンが多く、選手を苦しめる。終盤、小田原市街に入る道幅が狭くなり、目の届かない自分のペースを見失うこともある。現れたには、選手の前方に富士山の雄大な姿を望むことができる。かつての距離短縮がマラソンに順応できる選手の育成にマイナスとの指摘もあつて距離が再び延長された4区。往路の終盤に向けて5区に良い位置でつく重要な区間となった。



第3区
戸塚～平塚
21.4%

湘南の海風と砂が襲う
箱根駅伝の名物の一つである湘南の海を左に見ながら走るコース。序盤は下り坂だが、ここでペース配分を間違つと後半が苦しくなる。11.9%で国道134号線に出る。選手の前には富士山が見える。海からの風がひどく強い年は、選手からつきながら走る場面も。砂防林のある海岸線が風に乗って砂が飛んできて、目を開けられないことも。後半はアップダウンの少ないコースだが、崖という見えにくい敵が選手を襲う可能性もある。かつては1年生の起用が目立っていた3区だが、前半型オーダーを組む大学が増えたことで主力級の選手の起用が多くなっている。

第2区
鶴見～戸塚
23.1%

エースも苦しむ二つの坂
花の2区と呼ばれる各校エースが配される区間。平地区間では最も長い23.1%で、二つの厳しい上り坂がある。一つは14%過ぎにある有名な「権太坂」。左右にカーブしながら約20%を上る。実際に現地に行った学生記者は「自転車で上ったがきつかった」と話す。もう一つは、コース終盤の20%過ぎから戸塚中継所までの約3%に及ぶ「戸塚の壁」とも呼ばれる坂。「権太坂よりこの坂の方がつらい」と話す選手もいる。特にラスト800mの急な坂で苦しむ。各校のエースでさえ2区での「二つの坂」の攻略は簡単にはいかない。また、2区ではエースによる「こぼれ抜き」も多く見られる。



第1区
大手町～鶴見
21.3%

出遅れし上位を狙え!
1区のコースは全体的にフラット。目立ったアップダウンは7.8%付近の八ツ山峠と18%付近の六甲峠のみ。そのため近年はハイペースになることが多く、1区から差が大きくなることもある。最近では各校エース級の選手が1区に集結、ハイレベルなレース展開となっている。「流石」が大切な駅伝で1区での出遅れが大きいと後の区間で苦戦を強いられるため、できる上位で陣を渡したい。

コース説明



スタート地点
大手町
往路
1～5区
107.5%

男子駅伝部
名前
学部学年/出身高校
(1) どんな走りを
(2) マイブーム
(3) 勝負メン
熱い声援を!
メンバー紹介
●は主将
【聞き手・君島麻未/写真・高桑慶美】

菅 真大
(経営4) 松山工業・愛媛
(1) 後半にかけてしっかりとペースを刻んで行けるように心掛けたい
(2) 特になし
(3) カレーラーメン

酒井 雅喜
(経営4) 佐久長聖・長野
(1) 4年間支えてくれた人に感謝の気持ちを含めていきます
(2) 洋食
(3) ご飯

中舎 優也
(経営4) 伊賀白鳳・三重
(1) 楽しんでもらえる走り!!
(2) KEYTALK
(3) 蕎麦

山本 竜也
(経営4) 法石法石川・福島
(1) 4年間の集大成として自分の大学での路上生活すべてを込めていきたい
(2) ちゃんみなを聴くこと
(3) すしざんまい、焼肉

大石 巧
(経営4) 袋井・静岡
(1) 大手町のゴールで全員が突って終わる走り
(2) Amazon Prime Video でビデオ鑑賞
(3) 暖暖亭のスタミナ丼

金子 元気
(経営3) 坂戸西・埼玉
(1) 他大学のエースに負けない走り
(2) 美味しいものを食べに行く、モンスターストライク
(3) 昼:スタミナ丼一夜:餅入りうどん

鈴木 勝彦
(経営3) 二本松工業・福島
(1) 1月の寒さを暑さに変えるくらい、見てくれる人全員に熱のこもった走りを見せる
(2) 寝る前のストレッチ、三浦大知の曲を聴く
(3) 卵とベーコンのほうろひ草炒め

中島 公平
(経営3) 水城・茨城
(1) 応援してくれる人がワクワクするような走りをする
(2) 土曜の唄を聴む
(3) 日曜屋のレバニラ定食

岐下 拓斗
(経営3) 中京・岐阜
(1) どの区間を走ってもチームに貢献し見ている人にも勇気を与えること
(2) 同期の鈴木勝彦を毎日いじること
(3) 暖暖亭のスタミナ丼

小野 正人
男子駅伝部部長
城西の赤いユニフォームが帰ってきました！選手もマネージャーも皆燃えています。一丸となって頑張りますので、どうか熱い声援をお願いします。

服部 潤哉
(経営3) 中京大学附属中京・愛知
(1) 区間賞をとる
(2) YouTube を見る
(3) 暖暖亭のご飯

荻久保 寛也
(経営2) 三郷工業技術・埼玉
(1) 突っ込んで粘る走り
(2) YouTube を見る
(3) 二代目蝦夷の焼肉丼

中原 佑仁
(経営2) 市立船橋・千葉
(1) 家族や祖父母、応援してくれたいる方々に感謝をもらえる走り
(2) 読書
(3) 二代目蝦夷の焼肉丼

西嶋 雄伸
(経営2) 名古屋経済大学高蔵・愛知
(1) みんなの記憶に残る走り!
(2) 音楽を聴くのが大好きです
(3) リポビタンPフル

宮澤 真太
(経営2) 十日町・新潟
(1) チームに貢献する走り
(2) 学校に行く
(3) 寮飯

菊地 駿弥
(経営1) 作新学院・栃木
(1) チームに貢献する走り
(2) 映画鑑賞
(3) スタミナ丼

雲井 峻太
(経営1) 西京・山口
(1) チームに貢献する走り
(2) プロ野球の応援歌の動画を見ること
(3) 特になし

菅原 伊織
(経営1) 國學院大学久我山・東京
(1) 積極的なレース、区間賞
(2) 乃木坂 46 の写真集を見ること
(3) 肉料理、オレンジジュース、サラダチキン

野上 亮祐
(経営1) 中京大学附属中京・愛知
(1) 積極的な走り、チームに勢いをつけるような走り
(2) 練習後に午後の紅茶を飲む
(3) お米、卵かけご飯

わたしたちも
応援します

石川 清
坂戸市長・坂戸市民応援団団長
第94回東京箱根間往復大学駅伝競走への出場、誠にありがとうございます。
選手諸君の汗と涙、そして皆様皆様の幾多の思いが染み込んだ襦袢を胸に、それぞれの選手がその実力を遺憾なく発揮し、活躍されることを期待しています。目指す「復讐」!

青藤 芳久
鶴ヶ島市長
城西大学駅伝部の皆様、第94回箱根駅伝への出場おめでとうございます。
鶴ヶ島市内には駅伝部の合宿所があり、市民も皆様のことを身にしみて応援しています。当日は練習の成果を十分に発揮し、チーム一丸となって箱根の山々を駆け抜けてください。城西大学の活躍を期待しています!

谷ヶ崎 昭雄
日成市長
第94回箱根駅伝への出場、誠にありがとうございます。新しい季節を駆け抜け、新たな季節を迎える選手たち。今まで積み重ねてきた努力を発揮し、全国に城西大学駅伝部のヒーロー、ハローを見せつけてください。
選手全員が一丸となって、陣を敷いて、箱根駅を駆け抜ける姿を楽しみにしています!

井上 健次
毛呂山町長
城西大学男子駅伝部の皆さん、2年ぶり14回目の箱根駅伝への出場おめでとうございます。昨年の悔しさを乗り越え、一回り大きく成長したチームで全員力を発揮し、再び箱根駅を駆け抜けてください。日頃の練習の成果を発揮し、栄冠を勝ち取ることができるよう、応援しています!

新井 隆啓
越前市長
城西大学駅伝部のみなさん、第94回東京箱根間往復大学駅伝競走に、2年ぶり14回目の出場おめでとうございます。
昨年の悔しさを乗り越えて、選手一人ひとりが最高の舞台で最高の力を出し切り、城西大学を巻き起こしてください。「頑張れ!城西大」。越前町からの熱いエールを送ります。

井上 悦夫
父帰援会会長
男子駅伝部は、監督、コーチ、選手が丸くなって2年ぶりの本戦出場を果たしました。これも教職員や学生、地域の方々の応援があったからこそ。地域の皆さんの応援が支えられていること、心算する声援が数多く寄せられています。坂戸市の皆さん、応援ありがとうございます。チームワークを深め、積極的な走りをお願いします。

村山 結太選手
2014年度卒業・旭化成所属
私にとって箱根駅伝とは、仲間と一緒にシード権を勝ち取った思い出のある駅伝。
——本戦前、健康面や生活面などで気をつけていたことは、普段通りに生活することを心がける。手洗いうがいを徹底する。

西岡 喬介選手
2015年度卒業・中電工所属
4年間を振り返って。
今振り返ると、長かったよう短かったような4年間でした。楽しいことばかりではなかったですが、箱根駅伝に大学生活すべてをかける経験が出来たことは、

私にとってかけがえのないものとなりました。
——箱根駅伝とは、私にとっての箱根駅伝とは青春です。学生の時にしか味わえない夢と感動を与えられる舞台だと思います。
——箱根駅伝を走っている時に考えていたこと、力にしていたこと。
3年目、4年目にも感じたことは、自分の結果よりもチームの結果を思っていたことです。区間10位以内を目標にはしていましたが、一番に考えていたのは、控えている選手と応援してくれているチームメイトでした。結果は残せませんでした。が、全力を尽くせたのはあの時一緒に戦ってくれたチームメイトたちでした。
——後輩たちに一言。
城西大学は本当に恵まれた環境で陸上競技に打ち込める場所だと思います。諦めず打ち込めばそれに見合う結果がついてくると信じています。是非とも悔いがないよう頑張ってください。応援しています。

箱根・芦ノ湖
折り返し地点
往路フィニッシュ・復路スタート地点の近くにある駅伝広場では箱根駅伝の歴史が紹介されている

第6区
箱根・芦ノ湖～小田原
20.8%
「山下り」ペース配分が大切
山下りの6区ではあるが、スタートしてから4%は上りである。この上りをどう攻略することも重要なポイントである。5%過ぎから一気に下りとなり、100mが14秒台までスピードアップすることもある。急カーブの連続にコース取りも重要で、また早朝は気温が低いため、十分なウォームアップが必要となる。箱根の山々やアクシデントもあるため、注意しながら走らなければならない。坂が緩やかなら「ラスト3%」は、急坂を下ってきた選手にとっては上り坂に思えるほどきつくなる。「リスタート」が必要となる。ここで陣が止まってしまうこともあるため、ペースコントロールが必要となる。また、往路フィニッシュ時にトップから10分以上差がついたチームは復路一斉スタートとなるため、見た目と実際の順位に違いが生まれてくる。

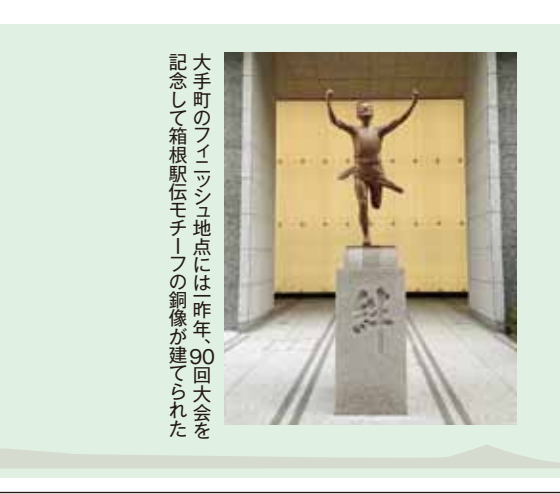
第7区
小田原～平塚
21.3%
細かいアップダウン
箱根の山に別れるを告げ、選手は海岸線へ向かう。この7区は最も気温差が激しい区間。小田原中継所を出る午前9時前後は朝陽からの強い日差しが選手を苦しめる。平塚中継所が近づくと気温は急激に下り、選手は寒さを感じ始める。この区間はアップダウンが続きペースがつかみにくく、中継所の直前は上り坂になっていて、20%以上上り坂を走らなければならない。見た目と実際の順位に違いが生まれてくる。

第8区
平塚～戸塚
21.4%
しぶとい「遊行寺の坂」
右手に海を、後ろに富士山を背負いながら走る8区。7区と同様、選手の前には富士山が見える。序盤はフラットな海岸線だが、海が離れて15.9%過ぎには「遊行寺の坂」は箱根駅伝のコースの中でも有名な。箱根の山を走らせるよき上り坂のため、前半にペースを上げすぎるとこの坂で苦しむことになる。遊行寺の坂を上りきったあとにはまた下り坂が続く。この区間は、選手がペースを崩さず走り続けることが求められる。走り続けることが求められる。

第9区
戸塚～鶴見
23.1%
避けたい繰り返しのスタート
花の2区逆のコースであるこの9区には、各校エース級の選手が配置される。序盤は下り坂のためペースに乗りやすいが、平地区間では2区と並んで距離の長い区間だけに、ここでペースを崩さず走り続けることが求められる。11%過ぎからは平地で平坦なコースとなるが、コース後半はみなと通りのビル群が見え、いよいよ都内が近づいてきたことが実感できる。復路やスタート権争いが熱くなる中、繰り返しスタート(トップ)通過し(から20分)の可能性が出てくるため、選手はトップとのタイム差を気にしながら走るようになる。繰り返しのスタートとなり、10区のランナーが待っている観覧車中継所で涙を流すシーンが多く見られる。

第10区
鶴見～大手町
23.0%
白熱! シード権争い
長丁場の箱根駅伝も10区で総仕上げ。コースはフラットでそれほど難しくなく、距離が長いので疲労が走りから求められる。また、コース後半はみなと通りのビル群が見え、いよいよ都内が近づいてきたことが実感できる。復路やスタート権争いが熱くなる中、繰り返しスタート(トップ)通過し(から20分)の可能性が出てくるため、選手はトップとのタイム差を気にしながら走るようになる。繰り返しのスタートとなり、10区のランナーが待っている観覧車中継所で涙を流すシーンが多く見られる。

復路
6～10区
109.6%
ゴール地点
大手町



大石 巧選手
2014年度卒業・旭化成所属
私にとって箱根駅伝とは、仲間と一緒にシード権を勝ち取った思い出のある駅伝。
——本戦前、健康面や生活面などで気をつけていたことは、普段通りに生活することを心がける。手洗いうがいを徹底する。

雲井 峻太選手
2015年度卒業・中電工所属
4年間を振り返って。
今振り返ると、長かったよう短かったような4年間でした。楽しいことばかりではなかったですが、箱根駅伝に大学生生活すべてをかける経験が出来たことは、